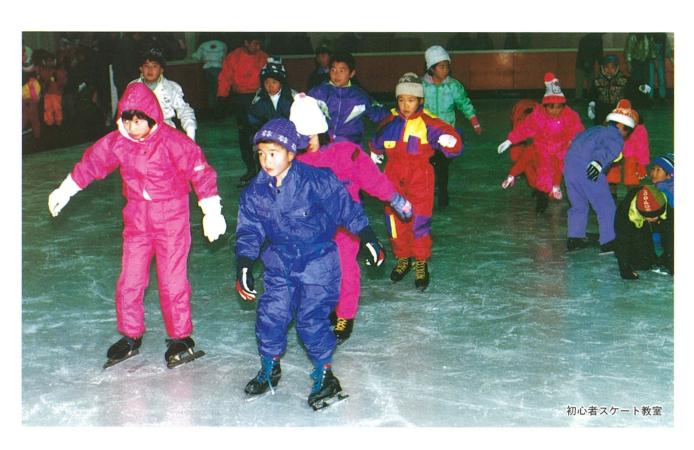


第 104 号

平成7年1月15日

編集・発行 甲府市議会だより 編集委員会 電話(35)7054 甲府市議会事務局



各会計別決算及び平成五年度甲府市各企業会中の継続審査となっていた平成五年度甲府市

それぞれ付託された所管の案件について慎重

また、各常任委員会では、本会議において

そして、最終日の本会議では、

議会の閉会

市長等に答弁を求めました。

会派より七名が代表質問・一般質問を行い、

市政一般質問及び議案に対する質疑は、

ボランティア都市宣言 など21案件を可決

12月定例会

案件について審議しました。

線の認定、ボランティア都市宣言など二十一

会期を九日までの九日間と決め、市長から提

条例の一部改正、市道路

十二月定例会は、十二月一日に招集され、

ゆるぎない県都として一○五

Ш **|本市長再選** 出馬を表



明しました。 月に行われる市長選挙に立候補することを表 会議の冒頭で、 山本市長は、 所信表明を行い、 一日開会した十二月定例会本 平成七年四

所信表明の主な内容は次のとおりです。

おります。 再度立候補せよとの温かいご要 種団体等多くの市民の方々から 請を承り、 市議会有志の皆様を始め、 深く感銘をいたして 各

方のあるべき姿は、 始め、市民の皆様方の格段のご 民党的立場を堅持し、市議会を 市政」でなくてはならないこと うした激動の中にあっても、地 本の役割も問われ、新たな時代 とともに、世界の中で果たす日 返ってみますと、この間、 以来今日までの三年有余を振り をもって執行させていただくこ 理解とご協力をいただき、 であり、市政運営にあたっては、 経済は、かってない不況に陥る とが出来ましたことに、心から 、と転換してまいりました。 党一派に偏することなく、市 このことを真剣に考え、 激を申し上げる次第です。 市民のための ひらかれた 「市民によ 誠意 就任 日本 こ

> 向かって、 適都市構築のため策定されたエ 礎の上に立って、市民主役の快 の皆様方が築き上げてこられた 年という輝かしい歴史と、 ねばならないと思います。 つなぐ街づくりを果たして行か 真に全国に誇り得る未来へ夢を き者来る」の理想を追い求め、 拠点都市としての環境形成を図 応する新しい構造転換の時代に 高度情報化等の成熟化社会に対 権を始めとする高齢化・国際化・ より推進するとともに、地方分 コープランを、全市民の協働に 「近き者説(よろこ)び遠 感性豊かな広域圏の

たす次第です。 われます甲府市長選挙に立候補 とであると認識し、来年四月行 0 民の皆様の熱き要請に応え、そ 私が成すべきことは、 する決意を固め、 先頭に立ち、身命を投げうっ このことを考えますとき、 その責任を果たして行くこ ここに表明 多くの市



財政状況、街づくりなどについて市の考え方をただしました。 間行われ、各会派より七名の議員が、 新病院建設の見通し、小中学校でのいじめ問題、行政の効率化策 主な質問と答弁の一部についての要旨は、次のとおりです。 市政全般に対する代表質問・一般質問は五日、 市長の政治姿勢、 六日、 福祉行政、 七日の三日

高齢者の住宅増改築 資金の助 成

は

の考え方を示せ。 めには、住環境の整備などが必要 や地域で、自立した生活を送るた と、高齢者・障害者向け住宅建設 資金の助成に対する取り組み状況 と考えるが、高齢者の住宅増改築 【問】高齢者が、住み慣れた自宅

応しております。 めており、本市が窓口となって対 として、山梨県社会福祉協議会の 資金貸付金融資制度の利用をすす は、高齢者が利用できる融資制度 【答】住宅改造等の資金について

先に実施した各市の実態調査等を きかけるとともに、本市としても 今後、これらの制度の充実を働

> ところであります。 参考にしながら検討を続けている を三十九戸整備し、利用していた また、本市の公営住宅には、 高齢者、身体障害者向け居室 現

都市づくり

滞在型都市形成 定住人口都市と 併用

向性としては、定住人口、交流・ 対策ではないかと考える。 まず第一に取り組むことは、人口 【問】 市の活性化を図るために、 その方

施策を示せ。 目指す考えか、 していく考えであります。 に、必要量等を勘案する中で対応 替計画に添っての住宅建替えの際 滞留人口のいずれの人口増を また、

その具体的

だいておりますが、今後は住宅建

変重要な課題であります。 【答】人口対策は、 都市形成に大

りに努めていく考えであります。 内の中核的都市としての都市づく おいて位置付け、定住人口都市と 創出事業等を総合計画の見直しに 滞在型都市形成を併用した広域圏 の市営住宅建設、良好な住環境の 労対策、 工業団地の拡大、集団化による就 施策の充実、中央商店街の活性化、 行政の促進を踏まえながら、観光 全国の大半の市町村は、人口減少 の時代が到来し、成熟社会を迎え、 国においても、人口減少、高齢化 てきたところでありますが、最近、 対策などを推進した都市形成を図っ おいて、人口定住化及び就労人口 に直面することを示唆しております。 本市では、レインボープランに こうした中、本市では、広域的 快適な生活環境づくりで

開コーナー等にある会議録を 市立図書館、市役所公文書公 本会議の詳細は、県立及び 会議録のご利用を

ご覧下さい。

などを見直し、

利用しやすく改善

るようにする考えはないか。

するとともに、独身者も利用でき

新 病院

平成八年度末完成予定は困難

考え方を示せ。 備、また総合病院としての基本的 検討が必要と思われるが、建設に 過などを考えると、今後も十分な の予定面積の問題や用地取得の経 ついての見通しと進入道路等の整 成予定とされていたが、建設用地 【問】新病院は、平成八年度末完

定の完成が難しい状況になりまし に向けて努力をしてまいります。 建設計画の調整を図り、早期完成 たので、用地取得の状況により、 取得の全般的な遅れから、当初予 【答】建設日程については、用地

る考えであります。 なお、新病院建設の基本目標と また、新病院建設に伴う道路整

しては、設備の充実と診療体系を 画的に進めていく考えであります。 備は、現在、地域内道路の拡幅も 境を備えた近代的な総合病院とす との間に和やかな信頼関係を醸成 ようにするとともに、患者と職員 常に高度の医療技術を提供できる 今後も地元の協力を得ながら、計 含め、地元と協議を行っており、 して、物心両面から、心暖まる環 整備し、高度医療機器を導入して、

【答】新婚世帯向け家賃助成制度

新婚世帯向け

家賃助成制度

ります。 に向け、積極的な対応をしてまい 込状況を見極めながら制度の充実 くPRを行ってまいりますが、申 今後も、制度の内容を周知すべ

を図る必要があると考える。現行

の新婚世帯向け家賃助成制度は、

適用例が全くないので、収入基準

には、

次代を担う青年の市内定着

【問】活力あるまちづくりのため

積極的な対応

りを図るものであります。

をした世帯を対象に家賃助成を行

平成六年四月一日以後に結婚

い、市内定着と活力あるまちづく

制度の充実に向け

ごみ減量化

処理につい らがごみの 業において 家庭、各企 めには、各 が必要と考 て工夫して は、自らの 減量化のた もらうこと 責任で、自

いります。 動できるリーダーの養成研修をは 提条件となりますので、地域で活 も引き続き、 じめ、情報等の提供を行い、今後 すでにその製造について下水道部 のボカシ」の取り組み状況を示せ。 みを有機質肥料に変える「EM菌 い知識を持って実践することが前 技術的に可能な段階になりました。 に依頼し、 【答】EM菌のボカシについては、 普及については、ボカシの正し 実験的に製造を行い、 その普及に努めてま

EM菌によるボカシ の取り組み状況は えるが、各

平成6年12月定例会質問要旨

される生ご 家庭から出

金丸	大村幾久夫	<u>斉</u> 藤	福島	末木	堀口	石原	氏
三郎	久夫	憲二	勇	隆義	菊 雄	岡山	名
代表 質問	代表質問明	代表質問問	一般 質問	一般 質問	代表 質 問	代表 質問問	会派
一 図書館行政について 一 野府市活性化対策について	一 不登校児対策について 一 税務関係について	一 活力ある高度福祉社会の確立について 地方分権の受け皿づくりについて 計画の策定について 計画の策定について	一 下水道事業の今後の進捗について一 行政の効率化の考え方について 来年度予算編成の基本方針について	一 広域行政の推進について 一 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」	一 新市立病院建設について 野間について お前立病院建設について お前について お前にのいて お前にのいて おがれる おがら と学園都市構想に おおがま と学園都市構想に おおがら おおがら と 学園都市構想に おおがら と 学園都市構想に おおがら と 学園都市構想に おおがら と がらいる と はいい と はい と はい と はい と はい と はい と はい と	一 青年向け住宅政策について 教育費の父母負担の軽減について 福祉の充実について	質問の要旨

ていただきます。 めながら、今後の検討課題とさせ については、国や県の動向を見極 また、独身者世帯向け家賃助成

> 菌の働きにより発酵分解して、有 ボカシ処理した生ごみは、各種の 混ぜ合わせて、発酵乾燥したもの。

糖蜜にEM菌(有効微生物群)を

<注>ボカシ…米ぬか、もみがら、

機質肥料となる。

その実態と対応を示せ。 をなくすための指導と対策、 法、社会環境の中で生じるストレ としては、いじめ、教育指導の方

【問】児童、生徒の不登校の要因

指

0)

導と対

スなどが考えられるが、不登校児

また、

じた学習課題を設定したり、教師

されなければならないと考えます。

例

審

及び市政一般

定

各人の個性に応じた教育がな

このために、学校現場において

児童、生徒の興味・関心に応

として生き生きと学ぶためには、

人一人の子どもが真に大切にさ

【答】児童、生徒が学校の主人公

導方法等の改善を図るなど、 のティームティーチングによる指

個々

に応じた指導に努めております。

なお、不登校児童、生徒の状況



の実態を、市民に対してどう理解 よる税収減などの厳しい地方財政 る影響を示せ。また、景気低迷に 府の税制改正が、本市財政へ与え を求めているのか。 【問】景気回復をねらいとした政

が現時点では不透明ではあります のと試算しております。 合計で約十九億円の影響があるも 十二億円、特別減税額が約七億円、 が、市税関係で、恒久減税額が約 の影響については、地方財政対策 【答】税制改正に伴う本市財政へ また、バブル崩壊により、 かっ

> れぞれの事業についても、年度間 は大変厳しい状況であります。 る景気低迷が続き、国をはじめ地 後期基本計画に位置付けられたそ 方自治体においてもその財政環境 て経験したことのない長期にわた このため、第三次総合計画の中・

るよう努力してまいりました。 関に対し、十分ご理解をいただけ 局の担当者が市民の皆様や関係機 する個々の事業については、各部 努め、特に市民や団体と直接関係 皆様にもご理解をいただけるよう を通じて、機会あるごとに市民の 財政状況については、広報紙等

いります。 について、市民の皆様や関係者の ご理解をいただけるよう努めてま 今後も、地方財政の厳しい状況

を進めております。 指導にあたるなどの日常的な対策 セラーが家庭訪問し、 などには、学級担任や学年カウン 会を設置し、無届けで休んだ場合 現在、各校に不登校児対策委員 実態把握と

調整等を図る中で対応していると

ころであります。

の成果を挙げているところです。 や高等学校等への進学など、一定 導を継続しており、学校への復帰 なろ学級」での相談活動、個別指 は不登校児童生徒適応教室「あす 学校や家庭への訪問指導、さらに 今後も児童、生徒の実態を把握 また、顧問カウンセラーによる、

まいります。

3日(土) 議案調査のた

休会

6日火 5日(月)

本会議、決算 各常任委員会 質問、各常任 審查特別委員 委員会付託

12月1日休

2日金

7日(水)

会

議 槑

9日金 8日休 校では減少傾向にあります。 ではここ二年多少増加傾向、中学 については、本市の場合、小学校

する中で、効果的な対応に努めて

開会、提案理

4 日 (日) 及び市政一般本会議、質疑 本会議、質疑

任委員長報告

各会派から

市長 の政治姿勢について

の発言がありました。 各会派は本定例会の代表質問の中 山本市長の再選出馬表明に対し、 「市長の政治姿勢について_

その要旨は次のとおりです。 、掲載は発言順

(日本共産党

いる。 なければならない、と言っている があり、人の痛みがわかるもので 教育・福祉に冷たい市政となって より、市民を苦しめると同時に、 げと消費税の上乗せに始まり、 は、上下水道料金の大幅な引き上 種使用料・手数料の値上げなどに 市長は常々、政治とは思いやり 山本市政の歩んだこの三年半 各

(新政クラブ)

堅持し、常にその政治姿勢は公正、 偏することなく、市民党的立場を 根幹を揺がしかねない変革期を迎 税制改革、地方分権等行政運営の 民福祉向上に意を注がれてきた。 清潔、誠実をモットーとして、 市政を基本理念とし、一党一派に え、二十一世紀に向けた市政のリ 山本市長は就任以来、やまびこ 地方自治体を取り巻く環境は、

> 任者であると考える。 ダーとして、正に山本市長は最

(新社会クラブ)

榜し、二十一世紀に向け「ゆとり 力されてきたことに敬意を表する。 現を目指し、その具体化に向け努 と豊かさの実感できるまち」の実 てば響く」の市民総参加市政を標 ビス産業」「呼べばこたえる、 の理念のもと、「行政は最大のサー となく、公正、公平な市民党市政 山本市長は一党一派に偏するこ 打

る政治の実現に期待する。 りなく、山本市長の思いやりのあ のまま継承していくことには変わ 推せんした。この度、 関決定により、山本市長の再選を 公明に分党したが、この姿勢はそ 十一月に公明党として中央の機 公明新党と

(市政クラブ)

を発揮していただくことを期待す 派に偏することなく、市民の声を に強力なリーダーシップと決断力 た市政運営を願うとともに、さら 大切にした、 山本市長には、引き続き一党 公平、公正な開かれ



総 務 委 員 会

る条例制定など五案を可決 ◆甲府市市税条例の一部を改正す

甲府市職員給与条例の一部を改正 案のとおり可決するものと決しま 条例制定についての五案について 事業特別会計補正予算(第一号)、 は、いずれも全員異議なく当局原 甲府市市税条例の一部を改正する を改正する条例制定について及び 条例の一部を改正する条例制定に 員の報酬及び費用弁償等に関する する条例制定について、議会の議 のの期末手当に関する条例の一部 ついて、特別職の職員で常勤のも 平成六年度甲府市交通災害共済

▼適正な課税による円滑な納税を

されるよう、引き続き努力するこ 適正な課税による円滑な納税がな 案のとおり可決するものと決しま めた形跡が認められる。今後も、 低迷するなか職員が税収確保に努 については、全員異議なく当局原 予算(第四号)中当委員会所管分 したが、市税収入に関し、景気が 平成六年度甲府市一般会計補正

> とを要望する意見がありました。 ンター建設用地取得案件を可決 (仮称) 甲府市南部地域市民セ

ました。 することを強く求める意見があり 業等をさらに考慮したうえで算定 ので、税制上の優遇措置や、関連 が他の事業に及ぼす影響は大きい ものと決しましたが、用地の価格 議なく当局原案のとおり可決する して実施される各種の周辺整備事 財産の取得については、全員異

文民 教生 委 員 会

◆付託された案件を全て可決

採択するものと決しました。 の請願については、全員異議なく 育の機会均等水準維持向上のため 負担対象職員の範囲を堅持し、 とおり可決するものと決しました。 委員会所管分の五案については、 民健康保険事業特別会計補正予算 年度甲府市病院事業会計補正予算 会計補正予算(第一号)、平成六 を改正する条例制定について、 養職員等、現行の義務教育費国庫 成六年度甲府市老人保健事業特別 いずれも全員異議なく当局原案の (第二号) 及び平成六年度甲府市 (第一号) 、平成六年度甲府市国 般会計補正予算(第四号)中当 甲府市学校職員給与条例の 次に、学校事務職員及び学校栄

都経 市 開 発済 委 員 会

度甲府市一般会計補正予算(第四 る条例制定について及び平成六年 ◆甲府市墓地条例の一部を改正 甲府市墓地条例の一部を改正す

しました。 局原案のとおり可決するものと決 いては、いずれも全員異議なく当 号)中当委員会所管分の二案につ

水建 道設 委 員 会

▼市道路線を認定

事)は、いずれも全員異議なく当 しました。 局原案のとおり可決するものと決 及び工事請負契約の締結について 市道路線の認定について(九路線) 予算(第四号)中当委員会所管分 (里吉団地) 建設 (建築主体) 工 (平成六年度特定公共賃貸住宅 平成六年度甲府市一般会計補正

改善を求める請願を不採択

をもって不採択とするものと決し の意見があり、採決の結果、多数 可能であるので不採択とすべきと 政状況からして、制度の導入は不 採択すべきとの意見と、本市の財 を担う若者の定住促進を図るため にとっては負担が重いので、次代 市内の民間住宅家賃は、若年層

なければなりません。

◆甲府市の青年・学生の住宅事情

ボランティア都市宣言文

文化的な生活を営むことのできる、明るい社会を創造していか のある都市づくりを願い、市民すべてが手を携え、常に健康で 豊かさ」を実感できる、人にも環境にもやさしい、快適で潤い の充実が図られ、調和のとれた都市として発展しております。 民と自然を尊び」政治・経済・産業・文化など総合的都市機能 私たちは、子々孫々にわたり、全ての市民が共に「ゆとりと 豊かな自然と歴史に育まれた甲府市は、市制施行以来、

的な市民参加によって、活力のある健やかな生きがいに満ちた い」を大切にし、お互いに「奉仕する互助の精神」による自発 ア都市・甲府」を宣言いたします。 福祉社会の実現を目指し、ここに、決意をこめて「ボランティ 市民の尊い善意と豊かな感性のもとに、「人と人とのふれあ

平成六年十二月九日

甲 府

市

と変更になりました。 一月六日付で、会派名が「公明」 市議会の会派「公明党」は、

会派名が 部変更

前年度に比べ三十%カットを実施 は、平成六年度見直しが行われ、

現行の市の補助金制度について 補助金制度の見直しについて

基準の明確化を図り、

軽減に努め

過したもの及び運営費補助の補助 ついては、奨励的補助で三年を経 るのかとの指摘に対し、補助金に したが、この方針を今後も持続す

審查特別委員

委員会審査の主な内容

特別会計決算及び土地区画整理事業用地先行 ち、一般会計決算、住宅新築資金等貸付事業 れも全員異議なく当局原案のとおり認定いた て、また他の特別会計決算については、いず 賛成の討論があり、採決の結果、多数をもっ 取得事業特別会計決算について、また甲府市 算をはじめ四企業会計)については、反対・ 各企業会計別決算(中央卸売市場事業会計決 その結果、甲府市各会計別決算の認定のう

審査の主な内容は次のとおりです。

加え適正化を図りたい旨明らかに 業の見直しの中で総体的な検討を るが、七年度以降はさらに事務事

総

括

晳

問

北部山岳地域の活性化対策につ

提にした開発について協議中であ 影響があるので、早い時期にコン 現在地元を含め県と環境保護を前 を活かした開発の進捗状況につい て主に論議が交され、その結果、 ゴルフ場建設に代わる自然環境 地元住民の日常の生活にも

算の認定について及び平成五年度甲府市各企 なっていました平成五年度甲府市各会計別決 十一月十七日から二十五日までの九日間にわ 画を提示したい旨表明されました。 ファッション都市甲府、 甲府のイメージアップについて

たり慎重に審査いたしました。

業会計別決算の認定についての二案について

九月定例会において、閉会中の継続審査と

センサスが得られるような開発計

をイメージアップするには、山紫 チフレーズとして、健康都市甲府 の都甲府を中心に据えた施策を長 水明、豊かな自然に育まれた、 を推進しているが、全国的に甲府 康都市甲府をメインにおいて施策 かとただしたのに対し、 府等いくつかあるが、今後はどれ 期的に行っていきたい旨表明され 合計画の中では、明日をひらく健 に重点をおいて施策を推進するの 甲府市を全国に印象づけるキャッ 第三次総 山の都田

庁舎問題について

ら、早急に検討したい旨の見解が 所を含め、交通の利便性、 の中では難しさもあるが、建設場 建設については、厳しい財政事情 検討するのかとただしたのに対し、 が、現行の総合計画の中で建設を の狭隘等市民に不便を来している 庁との関連等総合的に配慮しなが 表明されました。 現状の庁舎の分散状況、駐車場 他の官

使用料・手数料の引き上げにつ

他都市の使用料等を勘案しながら るとの指摘に対し、国の指導及び り、市民に過重な負担を強いてい 平成五年度に行われた各種使用 手数料の引き上げは大幅であ

> る旨の見解が表明されました。 たものであり、公平かつ適正であ 本市の特殊性を加味して改定を行っ

面重視の行政転換を

充実、ボランティア意識の高揚等、 民ニーズに重点を置いた、福祉の ソフト面重視の行政に転換を図る て、ハード面重視の行政から、市 きだとの強い意見がありました。 健全財政を堅持する前提に立っ

会 計 別 審 査

との答弁がありました。 借り入れに際しては、事業の内容 占める市債の割合は、予算総額の 事情を除けば、各年度での予算に 歳入減を市債で補うような特殊な 率において十五%程度を目安とし 来にわたる財政支出を拘束するの だしたのに対し、市債の発行は将 ついて、財政運営上の考え方をた 十%程度を一応の限度とするが、 ている。したがって、減税に伴う で、その運用については公債費比 を十分見極め慎重に運用していく 年々増加する市債の借り入れに

総務費について

目に余るものがある。自転車法が て、自転車、バイクの違法駐輪は 甲府駅の南側から中心街にかけ

ハード面重視の行政からソフト

がありました。

掃に意を注ぐべきだとの強い意見

も連携を取りながら違法駐輪の一

改正されたのに伴い、関係機関と

歳入について

中で事業実施については検討して 業となるので、 たのに対し、公園全体にわたる事 **偏構想の実施計画についてただし** 本年三月策定された遊亀公園整 第三次総合計画の

民生費について

員の増員については難しい面もあ 弁がありました。 るので、社会福祉協議会の組織を 年次的に増員を図り計画数に近づ 対し、現状、職員三十四名、 保の見通しについてただしたのに 定めた平成十一年度一一五名の確 いような措置も講じていくとの答 強化するなど、介護に手落ちがな けるよう努力する。また、正規職 ト二十三名で運営を行っているが、 ついては、高齢者保健福祉計画 高齢者介護のホームヘルパーに パー

衛生費について

りました。 民のリサイクルに対する意識は非 な運動を進めていく旨の答弁があ 生品の活用が容易に図られるよう 今後も引き続き不用品の交換、再 は増える傾向にある。したがって、 常に高く、有価物、資源ごみの量 し、近年環境保護の立場から、 その実績についてただしたのに対 リサイクル運動の推進状況及び 市

土木費について

学校の校庭を避難場所に指定

いく、特に地元住民から要望の強 の答弁がありました。 査及び基本設計を予定している旨 い池の改修については、来年度調

消防費について

の中で出された主な要望・意見は 次のとおりです。 消防団活動や地域防災の推進に 未車載の小型消防ポンプにつ 活発な論議が交わされ、 そ

いては、地域の実情を調査のう え、必要に応じて車載ができる るよう留意すること。 消防職員と同様な補償が得られ よう整備を進めること。 消防団員が負傷した場合は、

門の開錠について万全を期すこ 代の変化に対応した内容とする する場合には、夜間における校 防災訓練は、地域の実情や時

共施設がある場合には、 地内に設置できるよう検討する 消防ポンプ小屋の設置は、 その敷 公

教育費について

習の施設として開放を求められて 利用しているが、市民から生涯学 新たに設けられた生活科の授業や 校の余裕教室の地域開放について ただしたのに対し、余裕教室は、 生徒の減少に伴う小中学 多目的ホール等として

> 放していくとの答弁がありました。 ないところを選び、モデル的に開 いるので、警備上等の問題が生じ

▼国民健康保険事業特別会計

制度上は同じ扱いを受けており、 では所得の多い者も少ない者も、 なり望ましくない。医療給付の面 とは、他の市町村と比較をした場 制度は、全国に共通した制度であ ただしたのに対し、国民健康保険 考え方と矛盾するのではないかと 限度額が設定されるが、応能割の 保険料の算定に当たり、所得に 本市が独自の基準を定めるこ 市民に不公平が生じることと

> られることは、現行制度ではやむ たがって、所得年額に制限が設け 所得の多少による差異はない。 を得ないとの答弁がありました。 *住宅新築資金等貸付事業特別会

を行うことを要望する意見があり がる場合は県において事業の執行 義の制度に改め、他市町村にまた 査機関を設置すること及び属地主 貸し付けの適否を検討する審

▼土地区画整理事業用地先行取得 事業特別会計

センター建設計画 応したものとなる 更はない。 どに事業の繰り延 おおむね五年をめ 国鉄清算事業団と のに対し、現在、 についてただした よう検討していく おいて、時代に即 方法についての基 が、取得地の利用 べを協議している との答弁がありま 庁内検討委員会に ついては、今後、 本的な考え方に変 アーバンスタディ 施設に

償還率の向上及び制度改正のた ている。

▼下水道事業会計

れるので、 していく。 理とコンポスト処理の両方式によ しに合わせ、その対策を検討して の処理能力を超えることが予測さ 今後においても両方式により対応 いくとの答弁がありました。 汚泥も次第に増えることになるが、 下水道の整備が進むにしたがって、 ただしたのに対し、現在は焼却処 下水道汚泥の今後の処理方針を 、日量四十トンを処理している。 第三次総合計画の見直 また、将来的には現在

水道事業会計

平成五年度は冷夏による影響のほ 経費の節減に努めていくとの答弁 対応策としては、事業の繰り延べ 億八百万円の減収となった。その か、不況に伴う節水により、 通しについてただしたのに対し、 収への対応策と水道事業の長期見 行うとともに、起債も極力抑制し や事業費の節減を行うことで乗り 昨年の冷夏による水道料金の減 今後は、 事業の見直しを 約三

▼病院事業会計

外処方せんの発行などにより、 を要し、患者に負担がかかってい していくとの答弁がありました。 取り入れることができるよう検討 中心に、患者の要望をできるだけ る現状について、その対策をただ しでも時間を短縮できるよう努め したのに対し、診療の予約制や院 診療を終えるのに長い待ち時間 今後も業務改善委員会を

討 論 0

要

旨

がありました。

金は、 使用料に転嫁されている消費税相 税金をつぎ込むものである。 当分並びに四企業会計の決算は、 タディセンター建設事業に市 地先行取得事業特別会計への繰出 特別会計及び土地区画整理事業用 同和対策に関する業務委託料及び る消費税を取り込む決算である。 企業を優遇するためのアーバンス いずれも多くの市民が反対してい 工木費中住宅新築資金等貸付事業 また、一般会計歳出民生費中、 般会計歳入中消費譲与税及び 不明朗な同和対策事業や大

地先行取得事業特別会計決算は、 を中心に職員の英知と努力を結集 らず、予算執行に際しては、 を遵守することは当然であり、苦 が求められながらも今日に至って で賛成するとの意見がありました。 した成果を認めることができるの しい財政状況にあったにもかかわ るとの意見と地方公共団体が法律 これらの決算については反対であ 在の行政であるとの理由を挙げ、 東京の大手企業を優遇する市民不 る不明朗な事業であり、その是正 業特別会計決算は、属人主義によ いる。また、土地区画整理事業用 さらに、住宅新築資金等貸付事 市長

国は、

来年度の予算編成に当

ることに反するものであり、給

担制度の中に、きちんと残すこ あり、学校運営のために国庫負

とが大切と考えて、これからも

部文部大臣の「事務職員・栄養

これは、第一〇四国会での海

職員は、学校の基幹的な職員で

やっていきたい」と答弁してい

請

請 願

○学校事務職員及び学校栄養職員 ・採択されたもの 現行の義務教育費国庫負担対 民生文教委員会

象職員の範囲を堅持し、教育の機

会均等水準維持向上のための請願

長・山村勝一ほか (甲府市小中学校PTA連合会会

継続審査するもの

連絡会会長・小林豊子 〇中学校完全給食を求める請願 (甲府市の中学校給食を実現する

〔民生文教委員会

準維持向上を求める意見書 現行の義務教育費国庫負担対象職員 学校事務職員及び学校栄養職員等、 、範囲を堅持し、 教育の機会均等水

問題である。 教育制度の根幹に触れる大きな 担の対象外とすることは、 務職員・学校栄養職員を国庫負 るものに他ならない。 学校運営を支えている学校事

を各県が全額負担すべきという

務職員・学校栄養職員の給与費 務教育諸学校に勤務する学校事 が豊かになっているとみて、義 たり、国に比べて地方財政の方

義務教育費国庫負担制度の見直

し論を強調しています。

るよう強く要望する。 き続き確保され、 負担制度の現行水準を維持す よって、教育の機会均等が引 義務教育費国

> 波検査を追加することを求める請 〇老人健診の選択検査に腹部超音 手塚佳樹 る連絡会代表・清水浩) (甲府共立老人健診連絡会代表

▼不採択になったもの [建設水道委員会]

改善を求める請願(栗田月江 〇甲府市の青年・学生の住宅事情

▼審議未了になったもの

(全法務労働組合東京地方本部甲 〇法務局職員の増員に関する請願 〔総務委員会

相沢平次郎ほか) 提出を求める請願(消費税反対田 府支部長・小俣久 府各界連絡会甲府民主商工会会長 〇消費税率引き上げ反対の意見書

そのしわ寄せは地方公共団体 与費を全額県負担といっても、

(市町村)に財政負担を転嫁す



・継続審査するもの

[総務委員会]

目 る陳情のうち、食料品をはじめと 築従事者労働組合組合長・宮原正 する生活必需品を非課税とする項 ○消費税率の引き上げ反対を求め (山梨県建設組合連合会甲府建

推進を求める請願(甲府市高齢者 保健福祉計画を市民本位に実現す 〇高齢者保健福祉計画の実効ある 長・山村勝一ほか) [民生文教委員会]

〔総務委員会〕

絡会代表・山内正海ほか 〇敬老自治体宣言に関する陳 いのちと健康を守る山梨県民

〇中学校完全給食導入につい (甲府市小中学校PTA連合会会 連 7 げを行わない項目(山梨県建設組 る陳情のうち、消費税率の引き上 〇消費税率の引き上げ反対を求め 組合長・宮原正則 合連合会甲府建築従事者労働組合 ▼審議未了になったもの

自治大臣感謝状

議場で祝辞を受ける小沢・早川両議員

受賞議員

ありました。 展に特に貢献があった永年勤続議 本市長からもお祝いのあいさつが 念する、と祝辞を送られ、 政発展のためなお一層の活躍を祈 献をたたえるとともに、今後も市 員の今日までの市政への多大な貢 を代表して中西 早川武男両議員に対して、市議会 員として、十月十四日に自治大臣 感謝状を授与された、 本定例会の冒頭、 久議員が、両議 地方自治の発 小沢綱雄、 また山

市議会記念誌出版構想検討懇話会 発刊するために設置されている、 (小沢綱雄会長)が十二月十六日

5面などについて意見が出され、

第二回 市議会記念誌出版 想 討懇話 を開催 会

的とした甲府市議会史(仮称)を、 賢の業績を後世に伝えることを日 た役割、実績などを集大成し、先 甲府市議会が市勢発展に果たし

祝

に開催されました。

事務局体制の確立、発刊年度、予 て検討することとなりました。 次回の懇話会でさらに細部につい 多くの委員から資料収集の方法



られました。 に来られ、その感想文が多く寄せ 力員の方々など多くの市民が傍聴 い選挙推進協議会の各地区推進協 の三日間に、 十二月定例会での市政一般質問 市政モニター・明る

その一部をご紹介いたします。

市

モニター

巻子

環境問題、下水道事業、福祉問題 引きしまる思いでした。質問内容 会傍聴に緊張して席に着き、身が 木枯しの吹く午後、 身近なところで起きている、 初めての議

> る様子を傍聴させていただき、 応えるために真剣に審議されてい と厳しい言葉のやりとりがあるの だと深く感じました。 の財政状況を考えると大変なこと ていますが、市民の大きな期待に 況下で市政は多くの問題をかかえ ではと考えておりました。この不 発言されていました。 が、市長及び担当部長の答弁も含 など地域に密着したものであった 極めて穏やかな雰囲気の中で 私は、もっ 市

モニター 大木 秀子

私達の暮しと密着した事項で、私 政の役割り分担があることを認識 祉かの問に、おのずから市民と行 今後の福祉政策の方向について、 され、意外に感じました。また、 ていましたが、静かに整然と進行 ただ、激しい論議の応酬を想像し にもそれなりに理解できました。 答弁がなされました。その発言は 質問に対し、市長及び関係部長の を得ました。当日は、議員二名の しました。 高負担、高福祉か、低負担、低福 一月定例会を傍聴する好機会

取り組まねばならないと痛感しま なりました。そして私達市民は、 加のもとに、 行政に積極的にかかわり、 端を知ることができて大変勉強に 今回の傍聴を通して、市政の よりよい街づくりに 市民参

> 市 モニター 野口富美子

の中で、環境問題など生活に密着 る機会を得、厳粛な議場の雰囲気 した質問に関心がありました。 何年振りかで再度議会を傍聴

弁に感銘を受けました。そして厳 よう聞き入りました。 た審議の状況などを肌で感じ、 各担当部長等の誠意ある的確な答 言者の言葉を一言一句もらさない い財政運営での市政の方針、 数々の質問に対し、市長はじめ ま

ち入るとともに、諸施策が論議さ きました。 政に対する認識を深めることがで れている議会を傍聴し、身近な行 会に参画しているような錯覚に落 の活動の場であり、 議会は、市民の代表である議員 自分自身も議

市 モニター

三分と短い時間で終りました。 くの時間は、質問にあてられ、 に及んでいるためか、一人当り二、 て約一時間程度と思われます。 人の要する時間は、答弁を含め 質問時間は短めにして、答弁に 市長はじめ担当部長等数人 般質問において、 質問者

推進協力員明るい選挙 三井 和子

師走に入り、風も冷たい六日午

は多くの時間を費やし、より具体

な内容の発言が欲しい。

でありました。また、各議員さん 弁もわかり易く、まとを得たもの 内容であり、市長及び部長等の答 代表質問・一般質問とも興味深い めて市議会本会議場に入りました。 会事務局の方の親切な案内で、初 いただきました。市役所二階で議

B



子を見せていただき、安心して市 が真剣に市政に取り組んでいる様 市議会本会議の傍聴をさせて

14 10 日 日 議会だより編集委員会 県市議会議長会議員研修会

甲府市を目指してがんばって下さ 思いました。 政をまかせられる立派な議会だと これからも、明るく暮しやす

15 H 新病院建設調查特別委員会

別委員会 新都市拠点整備事業調査特

29 日 17日~25日 決算審查特別委員会

議会運営委員会 行政効率化調査特別委員会 各会派代表者会議

1 日 H 議会運営委員会 議会だより編集委員会 十二月定例会開会 十二月定例会閉会

9

あなたも本会議を傍聴してみませんか

ある議員の活動や、市政の方針、 できます。 審議状況を直接傍聴することが 本会議では、皆さんの代表で

役所本庁舎二階)に来ていただ でどなたでも傍聴できます。 氏名及び年齢等を記入するだけ き、傍聴人受付簿に自己の住所、 次の定例会は、三月の予定で 傍聴手続きは、 直接議場(市

ださい。 お誘い合わせの上、 お越しく



本会議場の案内

傍 聴席 (定員72名)

会派の構成

18人 市政クラブ 新社会クラブ 4人 明 4人 日本共産党 3人



堀内 光雄



(新社会クラブ)



(新社会クラブ)



(市政クラブ)



秋山 雅司



堀内 征治 (公 明)



石原 貞夫 (新社会クラブ)



清水 節子



大村幾久夫



修 (日本共産党)



雨宮 年江 (新社会クラブ)



宮川 章司 (市政クラブ)



(日本共産党)

たらお気軽にお寄せ下さい。

三五-七〇五四編集委員会事務局



加藤 裕 (日本共産党)



金丸 三郎 (市政クラブ)



出井 数馬 (市政クラブ)



内藤 幸男 (新政クラブ)



上田 英文 (新政クラブ)



(新政クラブ)



小沢 網雄 (新政クラブ)



村山 (新政クラブ)



堀口 菊雄 (新政クラブ)



福鳥 (新政クラブ)



原田正八郎



牛奥 公貴 (新政クラブ)



森沢 (新政クラブ)



剣持 庸雄 (新政クラブ)



依田 敏夫 (新政クラブ)



川名 正剛 (無所属)



皆川 (新政クラブ)



小野 雄造



飯沼 (新政クラブ)



細田 (無所属)



狐塚 (新政クラブ)



海野平八郎 (新政クラブ)



末木 隆義 (新政クラブ)

理 者

理 者

理 者

事 務 局 速記者

演 壇

事務局長 議 長

理事者 収入役 助 市 長

> 者 事 理

理

者 事 理

すい紙面づくりに努めております。 くお伝えするとともに、親しみや 会活動を市民の皆様にわかりやす 会だより」第一○四号をお届けし 編集委員一同は、より多くの議 ご意見、ご要望などございまし 平成六年十二月定例会の

編 集 後 記 「市議

迎春

本年もよろしくお願い申し上げます



甲府市議会